第10回市民いきもの調査結果『サクラ調査』

日本人に人気の植物：サクラ

今回は春のお花見やを歌などで日本人にとても馴染み深いサクラを対象に調査を行いました。サクラの種類は植物学的にはとても複雑で詳細に分類されますが、一般的にはシンプルに山野に自生する野生の「山桜」と品種改良された「里桜」に分類されます。

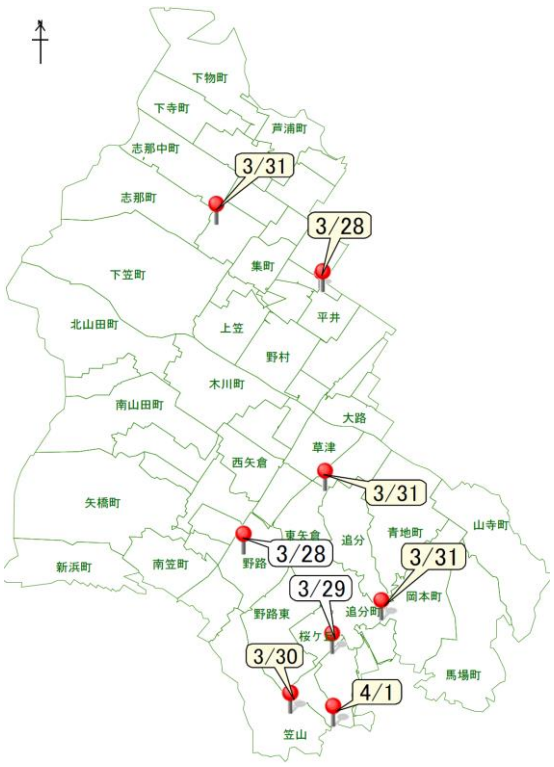
日本では、「山桜」と「里桜」の固有種、交配種あわせて６００種類ものサクラが確認されているようです。

今回は数多くあるサクラの種類の中でも、観賞用として最も馴染み深い、里桜の「ソメイヨシノ」を中心に、市民の皆様から報告をいただきました。

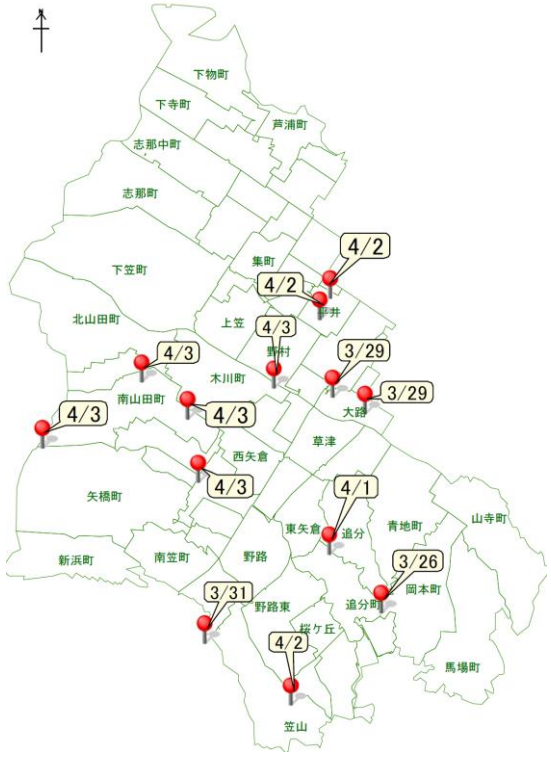
〔報告数〕　１３３件
〔調査期間〕平成２７年３月１６日 ～　４月２０日

●市内サクラ（ソメイヨシノ）開花状況

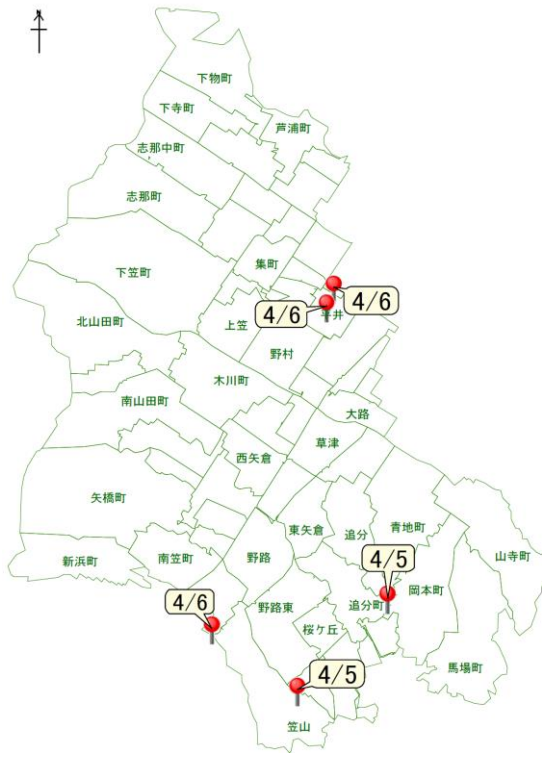
開花



満開



散り始め



皆様からいただいた報告からは、３月２８日から順に開花しはじめ、概ね３月２９日ごろから満開を迎え、４月５日以降から散り始めていることがわかります。開花のタイミングについて、報告いただいた各地点間でそれほど大きな差は見受けることはできませんでした。またソメイヨシノ以外の枝垂れ桜等についてもご報告をいただきました。

～ソメイヨシノ（染井吉野）について～

今回の調査対象となっているソメイヨシノは江戸時代末期に、染井村（現在の東京都豊島区駒込）の植木屋が、大島桜と江戸彼岸桜を交配して作り出したもので、「里桜」に分類されます。現在、日本の桜のおよそ８割はこのソメイヨシノですが、これだけ数を増やした背景には、その華やかさに加えて、１０年ほどで立派な木になる成長の早さにより、明治時代に全国の学校、公園、沿道、河川沿いなどに次々と植えられた経緯があるようです。

ただし、ソメイヨシノは観賞用として交配されたため、自力で繁殖することができず、接ぎ木や挿し木で数を増やしますが、病気に弱いなどの課題もあるようです。

皆さんのサクラにまつわるエピソード♪

・入学式の日に桜の下で写真を撮った。
・入学式・卒業式の節目の時期に応援してくれているように感じる。
・開花に併せて、ウグイスも鳴き、やっと春だと楽しくなる
・なかなか咲かないものだと思いながら観察していたが、咲いているのを見つけた時はとてもうれしかった。

ご報告ありがとうございました！！　草津市環境課